

2018年11月
1150号

万葉 Manyoh

一冊の会 編集部

〒160-0015 東京都新宿区大京町5
(一冊の会研究室)

祝 一冊の会 53年 大成功への軌跡をスタートする

10月27日、一冊の会は53歳の誕生日を迎えました。また11月8日は一冊の会永久最高顧問相馬雪香先生の御命日です。相馬先生に感謝しつつ、相馬先生の応接室である憲政記念館にて、今月も皆で集い勉強会を開催。まさに新しい一冊の会への軌跡をスタートしました。

祝 一冊の会 53年

10月27日、一冊の会は、第53回目の誕生日を迎えました。多くの皆さま方の支えの中、今日まで活動を続けて来られたことに本当に感謝しております。2021年のFAWA日本総会大成功を筆頭に東北被災地への“復興祈念植樹”持続活動、国連の流れと共に日本の為、世界の為に活動をし続けるというメンバーひとりひとりの心をついに新たなスタートを切った一冊の会。これから一年間、これまでの歴史を超えて新しい未来へと飛翔して参ります。

Happy Women

10月27日の一冊の会誕生日の27日に、六本木ヒルズの一部で開催されたHappy Womenのイベント。一冊の会若手の大阪グループの米山さんや河野さんが大槻会長を招待し、講演会を開催。河野さんが司会をし、女性として何を学び、行動していくべきなのかを大槻会長にインタビュー。当日は浅霧さんご令嬢、三坂さんも駆け付けました。大槻会長の出前講座では、国連の「持続可能な開発目標 (SDGs)」の話を中心に、一冊の会の活動を紹介します。2015年9月にニューヨーク国連本部にて採択されてから、一冊の会と国連ウィメン日本協会さくらでは、17の目標と169のターゲットからなるSDGsに対する学びを深めております。今年の春には初代国連大学事務局長であり、一冊の会の最高顧問に就任された伊勢桃代先生による講演を開催し、秋にはFAWA (アジア太平洋女性連盟) フィリピン総会へ日本代表団体として参画致しました。FAWAでは他のNGO/NPO団体と女性の能力が発揮できる社会実現に向けて、またSDGs達成へ向けて政府、民間、地域と連携をしていくことを誓い合いました。参加された三坂さんからも、一冊の会の活動、FAWAのアピールしながら、若い人達が興味を持つような生き方、社会貢献、SDGsを発展させる素晴らしい場であったと感想を述べられました。司会をされた河野さんからは、当日大槻会長が心を掴むような講演をされ、心を開いた面識の全く無い女性がブルーの本(1946年4月11日初の女性参政権行使と女性たちの出発)をその場で購入されたという話を聞き、若手の河野さんをはじめ大阪Gが一冊の会の活動を新しい発想で開拓・発信して下さったことに皆で拍手致しました。



出前講座をした大槻会長

Happy Womenのイベントには大阪グループのト部さんも参加されました。ト部さんは若手として今後いかに、同世代のみならず中・高校生に一冊の会の活動を発信していくことが大事である、と話されました。そして「自分に出来ることを」と今回のFAWAには参加することが出来ませんでした。FAWA第60周年、23回目のフィリピン総会のプログラムを日本語に訳したい、と志願され、英語の能力を活かし、FAWAの歴史や、フィリピンのドゥトルテ大統領の挨拶まで日本語に訳して下さっていました。ト部さんの真心に感銘を受けた他の若手メンバーと力を合わせて、皆さまにFAWA総会のプログラムの翻訳版をいち早くお届け出来るように致します。

一冊の会 53 回目の誕生日、嬉しいサプライズプレゼント

国連女性開発基金 (ユニフェム) 創設時から支えて下さっている国連ウィメン日本協会初代会長の中村道子先生に一

冊の会 53 年の報告を致しました。中村先生は温かい笑顔で「よく長いこと頑張りましたね」と大槻会長と小山副会長を激励され、訪問時間ギリギリまで会長との対話を楽しまれ、笑顔で、見送りまでされたそうです。そして後日一冊の会 53 年を祝って中村先生よりハロウィンのチョコレートが事務所に届けられました。大槻会長も小山副会長も先生からのサプライズプレゼントにびっくり！中村先生の真心に胸がいっぱいになったそうです。中村道子先生はもうすぐ 100 歳になられます。女性の為の国連機関であるユニフェムを設立。初代会長となり、女性史の最先端で活躍されています。

民主主義を推進する 目を見開き、動くことが大切 <石田理事長より>

一冊の会の月一回の勉強会が開催されている憲政記念館。憲政記念館は何故あるのか、それは明治維新以降の議会に対する理解を深める為です。憲政記念館には沢山の展示物があり、皆さんに公開しています。60 年前に尾崎記念財団が寄付を募って収集された宝物です。一度衆議院に寄贈しましたが 1970 年に憲政記念館として新たに出発しました。憲政記念館に展示されている作品や書物をただ知識として覚えるのではなく、今の時代にどうやって過去の歴史を生かし、より良い社会を私達が主体者となり築きあげられるか、それを考える場として欲しい。

憲政記念館の展示を拝観して

赤田研究員 2 階にバラックの前で演説する加藤シズエさんの写真があります。昭和 21 年、主婦に向けて演説された写真を観ていると、一冊の会永久最高顧問である園田天光光先生が 1946 年初の女性参政権が行使された第 1 回男女普通選挙にて戦った時の姿が目に見えました。女性史を築き上げたひとりである、加藤シズエさんや園田天光光先生の勇姿に大変な感銘を受けました。

城杉研究員 憲政記念館の周りには沢山の桜とハナミズキが育てられています。尾崎先生が東京市長の時日米の友好の証としてアメリカに贈呈した桜の苗木。アメリカからはお礼としてハナミズキが贈られました。日本とアメリカの友好を象徴するこのハナミズキの原木が尾崎メモリアルホールに保管され展示されています。友好の証は尾崎先生の世界平和への願いでもあります。尾崎先生の精神、今自分に出来ることは何かを常に考えながら、主体性をもって行動をして参ります。

箱根常任参事 憲政の父と呼ばれる尾崎行雄先生の著書『わが遺言』を再度読み直しました。『わが遺言』は政治家のみならず今を生き未来を築く私達にとってのメッセージなのだと、尾崎行雄先生の三女であり一冊の会永久最高顧問の相馬雪香先生が冒頭に述べていらっしゃいます。尾崎先生が戦火激しい中、「国家主義から国際主義に変わらないといけない。すべての日本人が世界から信用され、尊敬され、愛される人間になれ」と述べられております。尾崎先生の精神に大変感銘を受けました。相馬先生の生前に私は『わが遺言』を若者に輪読させ、尾崎先生の精神、心を後世に伝えます！と約束しました。決意新たに皆でしっかり学び、成長して参りましょう！

平間研究員 尾崎先生の気迫と情熱溢れるビデオ・展示に感動しました。先人が築いて下さった日本、そして世界の平和・幸福の為に努力を惜しまず、誰もが生き生きと生きられる機会を創って参ります。人間はいくつになっても無限に成長をしますので、尾崎先生の精神を学びながら実践していきたいと思っております。



2021 年の FAWA 日本総会、一人ひとりが真摯に受け止め、学び、考え、自分が大事だと思うことを世界中の皆に伝える、発信していくことが大成功への軌跡となります。一冊の会と共に新たなスタートをしましょう！

文責：一冊の会研究員 平間・城杉